

第五中学校は、第一小学校と第四小学校とともに、小中一貫教育を合同一体で行っています！

地域運営学校 八王子市立第五中学校

【教育目標】

- ◎ 人・地球との共生 〈より高い人間性をめざす人〉
- 未来社会への知性 〈学び続ける人〉
- 心身共に健康 〈健康で生命を大切にする人〉



学校だより

第9号 令和6年11月15日 金曜日

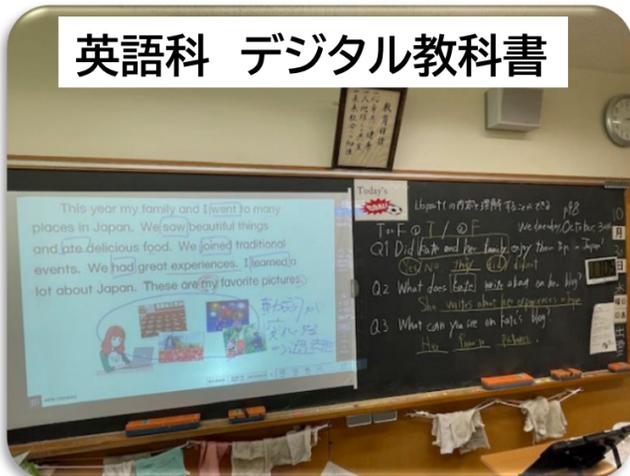
■ 発行 八王子市立第五中学校 八王子市明神町4丁目19-1
 ■ 代表電話 042-(642)-1633



社会科の授業における探究活動



英語科 デジタル教科書



探究・対話・新たな学び



主体的な対話・自己調整



新しい学びに向けた学校全体で進めるICTの活用

Society5.0時代に生きる子供たちにとって一人一台の学習用端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。ICTの効果的な活用や主体的な対話を通じた深い学びは、令和の時代における学習のスタンダードになります。

■ 校長講話 「うれしかったなあ」

教 師の仕事は生徒に「何か」を伝えていくことだと思います。その「何か」は場面によって違って、『勉強』だったり、『あいさつの大切さ』だったり、『ルールを守ること』だったりします。そして、その中でも難しいのは、『気持ち』を伝えていくことかもしれません。

実際には、その気持ちがなかなか伝わらないことが多くて、悔しかったり、悲しかったりするわけですが、それとは逆にとても嬉しいこともあります。

その昔、学校が荒れていた時代、教室に落書きが多くて、私は毎日のように落書き消しをしていました。ある時、掃除の時間と並行して机の落書き消しをしていると、その様子を何人かの生徒がじっと見ていました。そしてしばらくすると、意を決したように「先生、手伝います」と言ってくれたのです。「手が荒れるからいいよ。大丈夫だよ。」と言いましたが、「平気です。ねえ、やろう！」と言うと、6人から7人の生徒がパーッと走って雑巾を取り、一斉にあちこちの落書きを消し始めました。そこから後は一気に。「なんでこんなことをするんだろうね」「あそこにもある、消そう」、「もっと完全に消したいね」、「こっちの向きに消すとよく消えるよ」……。本当に嬉しかったです。涙が出そうになりました。

実はその少し前にも、同じように落書き消しをしている私を数人の生徒が見ていました。そして、「先生、毎日やってるの?」とか「消してもまたすぐ書かれちゃうんじゃない?」とか話しかけてきました。私は「毎日消していれば、そのうち書かなくなるんじゃないかなあ」と言ったのですが、その時の彼らも先日の生徒たちと同じ目をしていました。もしかしたら、何かやらなきゃと思っていたのかもしれないかもしれません。その中の一人は机に鉛筆で落書きをしていて、鉛筆は自分で消せるので「消しなさい」と何度か注意をしていたんです。その翌日だったかな、朝学活で教室に行くと「先生、消したよ」と彼が言いました。嬉しかったです。「偉いっ！」って一言だけ伝えました。

現在も時々掃除がない日があって、ごみを拾ったりしていると黙って手伝ってくれる人がいます。たとえごみ一つでも、その気持ちは伝わってきます。

あいさつも同じです。最近、廊下や校門ですれ違った時にあいさつをすると、身持ちよく「おはようございます!」と返してくれる生徒や静かに会釈してくれる生徒がいます。とてもうれしい気持ちになります。

一方で、あいさつをしても、あいさつを返せない、そのまま通り過ぎて行く生徒もいます。何で挨拶ができないのかなあ、家でも家族に「おはよう」とか「いただきます」とか言えているのだろうかとか、社会に出た時に相手に間違った理解をされて困るんじゃないかなとか、入試や就職の面接で、虚礼を見抜かれるんじゃないかと心配になります。

大人同士でもあいさつや会釈をしても、無視して通り過ぎる人(意外に多い)もいて、びっくり(呆れる)することもあります。五中の生徒には、心から挨拶ができる大人になって欲しいなと思います。

他人がポイッと捨てた運を拾っているんです。

□サンゼルス ドジャース 大谷 翔平 選手

大谷 翔平 選手は運を引き寄せる具体策として「ゴミ拾い」「部屋掃除」「あいさつ」「審判さんへの態度」「道具を大切に扱う」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」といったことをしているそうです。

ゴミが落ちていた時、拾わずに通り過ぎようとする、ゴミから「お前、それでいいのか?」と呼ばれているような気がするそうです。

■ 教育活動の紹介

○ 生徒会役員選挙立会演説会

9月2日(月)に生徒会選挙が行われました。生徒会役員候補者の演説、応援演説を行い、実際に選挙で役員が信任されました。将来の主権者として、学校生活をより良くするために全校生徒が力を合わせて活動してほしいと思います。



○ 第2学年 浅川ガサガサ体験

9月6日(金)、9月10日(火)に第2学年は笑顔と学びのプロジェクトで「浅川ガサガサ体験」を行いました。両日ともに、俳優で八王子市環境教育アドバイザーの中本 賢さんにお越しいただき、浅川の生態系、貴重な生物多様性についてお話と体験指導をしていただきました。



○ 生徒総会

10月1日(月)に生徒総会が生徒会主催で開催されました。後期の生徒会、委員会の委員長が、各学級から寄せられた活動方針に対する質問や提案に対して生徒会会長や委員会委員長が回答し、後期の活動計画などが承認されました。



○ 第3学年 修学旅行 奈良・京都

10月7日(月)、8日(火)、9日(水)の3日間、第3学年は修学旅行で奈良・京都に行ってきました。初日に小雨が降っていましたが、その後は天気に恵まれました。写真は初日の奈良・東大寺大仏殿に向けて歩いている風景です。



2日目の夜には、生徒が主催した学年レクを行い、大盛り上がりでした。修学旅行は大成功でした。修学旅行実行委員会の皆さん、レクを企画してくれた皆さんありがとうございました。

○ 10月12日 英語スピーキングコンテスト

10月12日(土)は八王子市教育センターで英語スピーチコンテストが開催され、本校からは第3学年の〇〇〇〇さんが出場し、流暢な英語でスピーチしていました。東京都ではグローバル人材の育成をめざしていますので、来年度も多くの生徒が出場してくれることを期待しています。



○ 第一小、第四小 運動会、体育学習発表会のお手伝い

10月19日(土)は第五中学校グループの第一小学校、第四小学校の運動会、体育学習発表会が開催されました。本校からは小中一貫教育の一環として、有志の生徒が両小学校にお手伝いしてくれました。写真は第四小学校に参加してくれた生徒の皆さんです。今後も積極的に参加してくれると小学生も喜んでくれると思います。



○ 八王子市立中学校 駅伝大会

11月3日(日)文化の日に、八王子市立中学校駅伝大会が開催されました。第五中学校からは陸上競技部の男女各1チームが参加し、写真のように、一生懸命走ってくれました。

来年度も開催予定ですので、日頃の取組を生かして、これからも活用してほしいと思います。



令和6年度 全国学力・学習状況調査(第3学年)の結果について

令和6年4月18日(木)に実施された全国学力学習状況調査(文部科学省)の結果が示されました。この調査は、小学校6年生、中学校3年生を対象に行われ、調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てること、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することとなっています。このことから、本校の課題を踏まえて、授業改善を一層進めて参ります。

○ 第五中学校【国語科】

○知識及び技能では言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、については全国(公立)の平均正答率に近い。一方で、我が国の言語文化に関する事項は全国(公立)の平均正答率から6ポイント下回っている。

○思考力、判断力、表現力等では、話すこと・聞くこと、書くことについては国や東京都の平均正答率を上回っている。一方で、読むことについて、全国では1%程度、東京都では4%程度下回っている。

○指導改善のポイントとして、生徒の資質・能力の定着状況を把握して必要な手立てを講じ、生徒一人一人がどのような資質・能力を働かせるか意識して学習を進めることができるよう、言語活動を工夫するなど授業改善をする必要がある。また、読むことについては、図表や写真などを含む説明的な文章を読む際には、示された図表などが、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなど、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取る力を付けさせる必要がある。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	東京都(公立)	全国(公立)	
全体		15	59	61	58.1	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	61.2	61.6	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	64.1	62.9	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	69.6	75.7	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	63.2	62.9	58.8
		B 書くこと	2	66.3	67.9	65.3
		C 読むこと	4	46.5	50.8	47.9
評価の観点	知識・技能	6	63.6	64.4	62.0	
	思考・判断・表現	9	56.5	58.6	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	63.5	63.5	61.0	
	短答式	3	61.7	64.6	61.8	
	記述式	3	44.2	49.6	45.5	

○ 第五中学校【数学科】

○学習指導要領の領域の中で、数と式、図形、関数、データの活用は全国(公立)の平均正答率を上回っている。一方で、東京都との比較では、データの活用は1%程度平均正答率は上回っているが、数と式、図形、関数では平均正答率が2%程度下回った。

○評価の観点で見ると、知識・技能では全国(公立)の平均正答率は上回っており、おおむね身に付いていると考えられるが、獲得した知識及び技能を活用して、問題場面において表、式、グラフなど数学的な表現を用いて説明する力を付けさせる必要がある。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都(公立)	全国(公立)
全体		16	56	57	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	55.3	56.2	51.1
	B 図形	3	44.4	46.5	40.3
	C 関数	4	61.1	63.5	60.7
	D データの活用	4	60.4	59.1	55.5
評価の観点	知識・技能	11	67.1	67.3	63.1
	思考・判断・表現	5	31.4	34.2	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	63.4	62.4	58.5
	短答式	6	70.2	71.3	67.0
	記述式	5	31.4	34.2	29.3

次号から学校だよりの生徒・保護者への配信は紙での印刷を終了し、Home & Schoolで配信する予定です。学校のホームページでも閲覧できますので、御覧ください。